

2008年度は外科スタッフ2名で診療にあたった。
手術件数は前年度の142例に対し146例とほぼ同数であった。
内訳でも例年並で大きな変化は無かった。
全麻手術は、昨年に比し5例減少したが、腰麻手術が7例増加した。乳癌・胃・胆嚢に関しては昨年とほぼ同数であったが、大腸癌が3例減少した。

フルタイムの緊急手術対応は出来なかったが、可能な限り対応を行い、緊急手術症例数は2006年度の29例には及ばないものの昨年とほぼ同数の20例行った。
総括すると、スタッフが1名減員したなかで、各項目横ばいで健闘したと考えている。

	2005			2006			2007			2008		
	局麻	腰麻	全麻	局麻	腰麻	全麻	局麻	腰麻	全麻	局麻	腰麻	全麻
甲 状 腺	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	1
皮 下 腫 瘍 摘 出	38	0	0	25	0	0	9	0	0	13	0	0
I V ポ ー ト	0	0	0	0	0	0	6	0	0	4	0	0
Auchincloss	0	0	7	0	0	1	0	0	4	0	0	4
乳 房 温 存 手 術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
胃 全 摘	0	0	2	0	0	4	0	0	3	0	0	7
胃 切 除	0	0	5	0	0	6	0	0	6	0	0	3
汎 発 性 腹 膜 術	0	0	3(3)	0	0	2(2)	0	0	4(4)	0	0	0
結 腸 切 除 術	0	0	7	0	0	14(3)	0	0	7(3)	0	0	5(1)
低 位 前 方 切 除 術	0	0	0	0	0	1	0	0	5	0	0	4
腹 会 陰 式 直 腸 切 断	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0
腹 腔 鏡 補 助 下 結 腸 切 除 術	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
イ レ ウ ス	0	0	5(1)	0	0	7(3)	0	0	7(4)	0	0	7(4)
虫 垂 炎	0	2(2)	2(1)	0	9(8)	7(6)	0	3(2)	8(5)	0	4(4)	7(6)
痔 疾	0	1	0	0	4	0	0	4	0	0	0	2
肝 切 除	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0
開 腹 胆 摘	0	0	3	0	0	3(1)	0	0	3(1)	0	0	9(1)
腹 腔 鏡 下 胆 嚢 摘 出 術	0	0	19	0	0	40(6)	0	0	38	0	0	33(2)
鼠 径 ・ 大 腿 ヘル ニ ア	0	21	3(1)	0	17	3	0	15	4	0	24(1)	2
そ の 他 の ヘル ニ ア	0	0	4(1)	0	0	3	0	0	6	0	0	5
そ の 他 の 手 術	0	6	12(3)	0	0	10	2(2)	0	6	2	1	7(1)
合 計	38	30	74	25	30	108	17	22	103	19	29	98
		(2)	(12)		(8)	(29)		(2)	(19)		(5)	(20)

()は緊急手術数